

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2019.02.No258

2月号

目次

東西アスファルト事業協同組合 助成金事業報告……………	1
実行委員会報告・活動方針等……	3
青年・女性の窓……………	6
[No.90 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>

東西アスファルト事業協同組合から 平成30年度も200万円の助成金

【経緯・経過】

東西アスファルト事業協同組合では、平成26年から事業エリアごとの広告宣伝事業活動を展開し、そのエリアの風土や地区性を踏まえた、地区の主体性をもった活動を推進されています。初年度の平成26年度は「さっぽろ雪まつり」等の道内のイベント関連に企業協賛として活動されていますが、一方で専門業者団体として目指すべき姿と立ち位置、北海道への地域貢献という部分での活動も検討されていた中、函館支部青年委員会主催「木で遊ぼう！マイはし作り体験」のイベントを耳にされ、このイベントに企業協賛並びにご参加されました。

その中で、はし作りを通じて地域の方々と触れ合い、子ども達にモノづくりの楽しさを伝えている建築士の姿が大変印象的とのことで、団体として目指している地域貢献、また地域貢献以外の面でも、建築士会活動への協賛・支援することにより、本会の発展、ひいては建築業界への貢献に繋がるものと考えられ、平成27年度以降、毎年本会事業に200万円の助成金を拠出いただき、平成30年度も拠出いただけるとのご提案のもと、平成30年7月24日(火)に正副会長、専務・常務理事及び各実行委員長による会議を開催し、7つの実行委員会及び事務局より助成対象となる事業が提案され、12事業を実施することになりました。

□助成対象事業は、下記の12事業です。

委員会名	実施事業名	助成金額
情報委員会	「北海道建築士」の発行 全面カラー印刷化	242,000円
まちづくり委員会	景観まちづくり塾 ～北のウォール街「小樽」へ～	268,000円
青年委員会	建築士のお仕事体験イベント ～7月1日は建築士の日～ (本部)	187,000円
	マイはし作り体験in湯倉の杜 (函館支部：青年道南ブロック協議会)	80,000円
	建築士と作ろう木工作・おもてなしの心に触れよう茶道体験 ～7月1日は建築士の日～ (十勝支部：青年道東ブロック協議会)	80,000円
	建築のお仕事体験イベントin紋別 (紋別支部：青年道東ブロック協議会)	90,000円
女性委員会	建築士による家庭科等住教育出張講座	250,000円
ハリテージマネージャー特別委員会	北海道ハリテージマネージャー特別講座	36,500円
被災地応急支援委員会	減災・防災マニュアルの作成	180,000円
	被災建築物応急危険度判定コーディネーター研修会	90,000円
会員増強特別委員会	新規建築士セミナー・免許証明書授与式	156,500円
事務局	第43回全道大会(士別大会)分科会	340,000円

※次ページに各事業の概要を掲載します。

東西アスファルト事業協同組合助成事業の概要

情報委員会

- ・「北海道建築士」の発行 全面カラー印刷化
北海道建築士会の動き、各事業等最新の情報を提供

まちづくり委員会

- ・景観まちづくり塾 ～北のウォール街「小樽」へ～
一般市民に景観まちづくりや魅力的な景観資源を守り育てていくことに興味をもっていただくきっかけづくりを目的とするとともに、これからの景観まちづくりのリーダーとなる人材（建築士）への景観教育を目的とし開催



青年委員会

- 未来を担う子ども達にモノづくりの楽しさ、建築士の魅力を伝えるため各地でイベントを開催
- ・建築士のお仕事体験イベント(札幌市) 1,248名参加



- ・マイはし作り体験in湯倉の杜(函館市) 53名参加
- ・建築士と作ろう木工作・おもてなしの心に
触れよう茶道体験(帯広市) 100名参加
- ・建築のお仕事体験イベントin紋別(紋別市) 156名参加

女性委員会

- ・建築士による家庭科等住教育出張講座
道内高等学校家庭科授業等での住居分野の講座を開催し、自身の住環境や住まいへの関心を高めるオリジナル教材用いた実習を開催

ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・北海道ヘリテージマネージャー特別講座
道内各地に遺る文化遺産の活用活性化と支部の活性化を目的とし開催



被災地応急支援委員会

- ・減災・防災マニュアルの作成
昨年作成したマニュアルを使用し小学校等で講演会を開催するため増刷
- ・被災建築物応急危険度判定コーディネーター研修会
震災による被災建築物の応急危険度判定体制の整備を図るため、判定コーディネーターに係る技術の向上を目的とし開催



会員増強特別委員会

- ・新規建築士セミナー・免許証明書授与式
二級：1月26日実施 一級：2月23日実施予定
北海道建築士会の会員増強を目的に、一級及び二級・木造建築士の新規合格者を対象に、新建築士セミナー及び免許証明書の授与式を開催

事務局

- ・第43回全道大会（士別大会）分科会
職能者としての建築士の技術・知識を高めると共に建築士の社会的役割・継続教育・制度論等時代の潮流を見極めた、より専門性を高める議論を期待し、地域貢献・実践活動等に基づく、建築士と地域社会・地域住民等の協働による地域発意のまちづくりの成果などを発信することにより、設計、施工、行政や教育など多様な建築士の参加によるオープンな議論や情報交流を図ることを目的とする。

総務委員会

攻める建築士会に

委員長 西岡 誠 (札幌支部)



皆様いつもお世話になっております。昨年は台風、胆振東部地震と災害が立て続けに北海道を襲い、多くの尊い命が奪われました。被災された皆様に対し心よりお見舞いを申し上げます。また、建築士会の活動として被災地での住宅被害相談などの対応をされた会員の皆様方、大変お疲れ様でした。

昨年も総務委員会は所掌の活動をしてまいりましたが、それとともに魅力ある建築士会について検討しております。まだ確固とした案ができたわけではありませんが、事があった時の対応を考えるのではなく、建築士会として建築士の方々はもとより社会に対して積極的に関わる行動力を持てればと考えております。例えばBIMは世界的にCADに代わり用いられていますが、日本はBIMに関しては後進国といっても良いかもしれません。建築士会活動の一つとして設計BIM、施工BIMの勉強会立ち上げなどに積極的に関わっていただければと考えております。そしてより重要なのは大地震時の建築士会としての積極的な関与かと思えます。地震災害時に建築士会として応急危険度判定業務を含め必要な人員をプッシュ型で自治体に派遣する攻めの姿勢があっても良いかと考えております。総務委員会として建築士会活動に攻める姿勢で関わりたいと考えております。

事業委員会

会員のみなさんの技術研鑽の一助に・・・

委員長 伊藤 隆英 (恵庭支部)



昨年は、毎年、当会各実行委員会の活動に対して多額（200万円）の助成金を拠出載っている「東西アスファルト事業協同組合」との協賛事業で座学と防水施工のデモンストレーションによる実演を交えた「防水技術セミナー」を道内5地区で開催し、130名の受講がありました。

主催事業として、①2年目の改正宅建取引業法に対応した「既存住宅状況調査技術者講習」を道内5地区で開催し158名の受講。②「施工がわかるイラスト建築生産入門」をテキストに「建築生産入門講習会」を札幌で開催し20名の受講。③中大規模木造建築の普及のために携わる設計者を養成する「中大規模木造設計セミナー（DVD）」を札幌で開催し30名が受講しました。

本年も3月に「防水技術セミナー2019in札幌」が「東西アスファルト事業協同組合」との協賛事業として開催され、函館、帯広、北見、旭川でも開催が予定されています。主催事業は、①2年間開催してきた、「既存住宅状況調査技術者講習」が延べ573名受講したことから、ある程度の受講者数を達成されたものと推測されることから、今回で最後として道内3地区で開催します。②前回、好評を得たことから新人研修の講習として「建築生産入門講習会」を札幌で開催。③「総合図作成ガイドライン解説講習」を札幌で開催。その案内チラシ等は、毎月発行の会誌「北海道建築士」に同梱しますので、是非ともご覧頂きますして受講されますことをよろしく申し上げます。

情報委員会

平成30年総括と全国大会に向けて

委員長 斎藤 勝哉 (旭川支部)



平成30年の会誌紙面は、東西アスファルト事業協同組合様の助成により、ほぼ通年で全頁カラー印刷として会員の皆様にお届けすることができました。内容に関しても可能な限りタイムラグを抑えるよう配慮して掲載してきました。

また、配送会社の指定日配達廃止によって、257号（平成31年1月号）より毎月1日に届けられていたものが数日のずれが発生することになりました。1月号が早めに届けられて驚いた方もいらっしゃるかと存じます。

31年の特筆はやはり、全国大会『函館大会』でしょう。開催の頃には改元され、〇〇元年開催となる記念すべき大会となるのではないのでしょうか。現時点では大枠が決まっただけではありますが、これから開催に向けて急速に進展していくものと思います。これについても出来るだけリアルタイムに報告していく所存です。

そして、大会を盛り上げるべく参集目標を高く掲げております。スタッフ人員も相当数必要になるかと思っておりますので、より多くの会員の皆様に参加いただけるよう啓蒙も含め紙面を作ってまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

まちづくり委員会

今年は全国大会函館大会！

委員長 針ヶ谷 拓己 (札幌支部)



2期目のまちづくり委員長を仰せつかり、早いもので1年が経過しました。有能な委員メンバーのもと、昨年は「まちづくりフォーラムin釧路」「全道大会士別大会B分科会」「景観まちづくり塾in小樽」に加え、新たに「道士会まちづくり会議」を開催することができました。各事業に、参加・協力・協賛いただきましたみなさまに、厚く御礼を申し上げます。今年も、昨年同様、各支部でまちづくり活動に関わっているみなさまや、一般会員のみなさまに、気軽に参加いただけるような事業を目指してまいりますので、興味のある方は是非、各事業に参加いただきたいと思っております。

そして今年はいよいよ全国大会函館大会の開催です。そこで行われる各まちづくりセッション（連合会委員会・部会が主管する研修会）の場にて、北海道で行われている建築士会活動をアピールするとともに、これを機に、私が委員長に就任した当初からの願い、「まちづくり活動の輪」をさらに広げていくことができると考えているところです。是非、会員のみなさまには地元北海道での全国大会へ、多くの方々に参加いただければと願っております。

みなさまも、一緒に楽しく、まちづくりの勉強やまちづくり活動に触れてみませんか？

青年委員会

今年の抱負

委員長 朝倉 友和 (函館支部)



北海道胆振東部地震で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。さて、昨年より個性あふれる有能な青年委員で結成され1年が経過しました。我々は、『建築士にとってより良い』をテーマに活動しています。昨年の連絡会議で先述のテーマを取り入れ、新技術や地域の取り組みについて、講義頂きました。今年もスキルアップとなる内容を予定していますので多数の参加をお待ちしています。

また、今年は思い切ったことに取り組みたいと考えています。それは冒頭にあります被災地への協力です。昨年末に震源地の厚真町を視察し、役場や社会福祉協議会を訪問しました。建築士会として何か出来ることが無いのかをヒアリングし、それと同時に道民ボランティアの少なさや、それに関わる難しさに直面しました。ボランティア要請の管轄はどこか？必要とされるボランティアが地域の会社の仕事を奪うことにならないのか？など。どういう展開になるかは分かりませんが、被災地の現状・問題点を共有・協議し、建築士会という団体だからこそ出来るものに尽力していきたいと考えています。

さらに全国大会函館大会が9月に開催されます。当日の人手不足が顕著で、会員皆様の力がなければ、成功はありません。是非、ご理解を頂き、北海道建築士会の飛躍の年にしたいと考えています。



各支部青年委員
(全道青年委員連絡会議にて)

被災地応急支援委員会

ぜひ!! 応急危険度判定士の登録を

委員長 小町 美穂 (札幌支部)



2018年9月に発生した北海道胆振東部地震で北海道では初めて震度7を観測。この地震では、厚真町を中心に広い範囲で土砂崩れが発生し濃尾地震や新潟県中越地震を超えて、明治以降で日本最大の崩壊面積は推定約13.4平方キロメートルありました。その後北海道全域でのブラックアウトもあり多大な被害をうけました。本委員会においては日頃より応急危険度判定の周知など中心に活動をしておりますが胆振東部地震では応急危険度判定には関わることが出来ませんでした。平成31年度も引き続き応急危険度判定・コーディネーター研修などの周知・知見を深め、技術を習得するなど活動したいと考えています。特に応急危険度判定士の登録数は最大で5000名ほどの登録が有りましたが現在は半数の2500名の登録となっています。胆振東部地震での判定数は札幌市で538件むかわ・安平・厚真町などで275件、合計813件の実施だったこともあり民間への依頼はありませんでしたが今後被害範囲の多い地震が発生する可能性はないとは言えません。そのためにも事前の準備として応急危険度判定・コーディネーター研修などの周知・知見を深め技術の向上は欠かせないものとなっていくと思います。建築士の皆さんにはご協力をお願いしたいと思います。

女性委員会

新しい取組みに向けて

委員長 工藤 美智子 (札幌支部)



女性委員会委員長として4年目を迎えました。昨年度も全道大会A分科会、女性建築士の集い、建築士による住教育出張講座と、全道の会員の皆さまには、大変お世話になり、ありがとうございました。9月には、胆振東部地震が発生し、被災状況は地域により様々でしたが、大規模停電の影響は全道民が少なからず受け、不自由生活を体験いたしました。そこで今年度の「女性建築士の集い」は、在宅避難を含めた避難所サバイバルを女性の視点で考える、という内容でワークショップ等を企画予定です。

また、昨年7月には、住教育出張講座での使用教材を「高校用住教育教材」として一般販売を開始いたしました。これは、講座開催に選定されなかった学校へも、教材を購入していただければ、実習指導講師を派遣する体制を作っていく為の第一歩です。

この教材は、支部・会員個人での購入も可能で、多くの皆さまに活用していただける内容となっています。入手方法はHPでご案内していますので、是非ご覧ください。

多くの方に住環境に関心を持っていただくために続けてきた住教育活動ですので、これまでと少し活動の体制は変わりますが、今後も取り組みを継続していきますので、ご協力をお願いいたします。

会員増強特別委員会

会員の増強に向けて

委員 久島 正嗣 (札幌支部)



会員増強特別委員会は、正副会長、総務、青年、女性各委員長と4ブロックの総括理事で構成されている特別委員会です。活動目的は会員増強を目的とした各委員会及び各ブロック間の連携と施策の検討です。建築士会は昭和27年に設立され今年で67年目となります。道士会の会員はピーク時には8000名を数えましたが昨年は4000名を切るまで数を減らしました。一級建築士の受験者数でも平成10年には5万6千でしたが、昨年は2万6千名となっています。昨年、事務所協会、建築家協会、建築士会の3会で共同提案していた建築士資格取得の受験要綱等の見直し法案が臨時国会で可決され、来年から適用される予定となりました。建築士の減少に歯止めがかかる事を期待し会員の増強にも繋げたいと思っています。

士会では今年も、地域街づくりイベントへの参加や、モノづくりお仕事体験イベントの開催、また住教育講座での学校訪問など、若い皆さんに建築の楽しさ・魅力を知っていただく活動を行ってまいります。子供たちにはこれから建築を目指してもらえようように、既に建築に携わっている皆様には士会の活動と楽しさを知っていただけたらと思います。また今年も昨年に続き新たに建築士になられた皆さんを対象にセミナーと免許授与式を開催します。二級は、1月26日にすでに開催し、一級は2月末に開催予定です。多くの皆様の参加をお待ちしていますので、よろしくお願いたします。

ヘリテージマネージャー特別委員会

平成31年事業計画

委員長 関川 修司 (北広島支部)



平成31年の講座の事業計画を述べます。
建築基準法、文化財保護法の改正が行われ、今後益々、歴史的建造物の利活用は進むことと思われる。

ヘリテージマネージャー特別委員会が所管するその講座ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座は、次年度にあつては、地域に遺る歴史的建築物・歴史的資産の活用を事業として行っている方、施工として行っている方からの事例、行政として取り組んでいる上ノ国町、松前町の事例、士会の試みとした羽幌町の受講生、卒業生の皆さんが参加してくれた民家調査の実例（この事業は今年も行いたい）、本講座卒業生の事業活動報告の発表を計画した。

この講座は、単に歴史的建造物の利活用というものではなく、全道各地に存在する空き家対策解決の一方法でもある。

また、本年からはヘリテージマネージャー、ヘリテージコーディネーターも100人を越えたことから、ヘリテージマネージャーネットワークを築き、多くの地域で、多くの歴史的建築物・資産を支えている活動を、応援していきたいと計画している。そしてまた、今までの活動30件弱を－上手く行ったこと、上手く行かなかったことを含め－記録に留め、残していこうと思う。

この事業の応援は、講座受験ばかりではありません、広めてくれることも協力です。

地域貢献活動センター委員会

地域貢献活動しよう！

委員長 本間 恵美 (小樽支部)



今年は、4月末に平成が終わりを告げ、寂しい気持ちもありますが、新しい元号になるのですから、なにか新しいことに取組むにはピッタリな年でもありますね。

昨年の平成30年には、2つの応募がありましたが、残念ながら助成に至りませんでした。

皆様の中で現在、地域の方々と活動されている事業はありませんか？または、これから活動したいと考えている方は、この機会に、活動を具体的に企画してみましょう。小規模な活動でも、条件を満たせば活動費の助成が可能です。

応募にはいくつかの条件が必要です。

- ・対象事業は、9つのテーマに沿うもの。
- ・応募の団体には、継続して3年以上の士会会員2名以上の参画が必要。
- ・一件の限度額は20万円まで。(但し、予算の範囲内で審査委員会が決定した額)
- ・1月から9月末まで募集をしています。

詳しくはホームページをご覧ください。参考に過去の助成事業を見ることができます。

地域の方々と活動してみたいけれども、活動する資金が無いという方は、「こんな活動したいけれど、どうでしょうか？」とまずはお気軽にご相談ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

ホームページ・バナー広告募集のご案内

一般社団法人 北海道建築士会では、トップページに掲載するバナー広告を募集しています。トップページには、年間2万4千件、ページビュー約10万件のアクセスがあります。ぜひ検討いただき、お気軽にお問合せください。

■掲載箇所・規格

・当会ホームページトップページ

(A)：サイドエリア (右) (B)：ページ下エリア



・RGBカラー / jpg, gif, png いずれかのファイル

■掲載期間・掲載料

掲載期間：3ヶ月単位 (毎月1日から)

掲載料：会員又は会員が所属する法人及び個人事務所、
賛助会員 1 枠：5,000円 (税別)/月額
会員外 1 枠：10,000円 (税別)/月額

■掲載できない広告

- (1)法令等に違反するもの又はそのおそれのあるもの
- (2)公の秩序又は善良の風俗を害するもの又はおそれのあるもの
- (3)建築士会の品位を損なうおそれがあるもの
- (4)政治活動、宗教活動、個人の宣伝又は職業的な求人に関するもの
- (5)その他、広告媒体に掲載する広告として適当でないと会長が認めるもの

■留意事項

- (1)掲載可能な広告が規定する枠数を超える場合は、抽選により決定します。
- (2)バナー広告の原稿は申込者の負担・責任で作成してください。
- (3)広告の内容、デザイン及びリンク先のホームページの内容等が上記「掲載できない広告」に違反している、あるいはその恐れがあると判断したときは、広告の内容等を変更していただきます。

※お申込みの流れ・詳細については、北海道建築士会ホームページ (<https://www.h-ab.com/>) をご覧ください。



「写真撮影セミナーin室蘭」を終えて

稲場めぐみ (室蘭支部)

女性委員会道南ブロックの活動として、10月20日(土) 室蘭市中央町にて、写真撮影セミナーを開催しました。なかなか参加者が集まらず…定員10名のところ参加者4名と小規模開催となりましたが、少人数だからこそ、個別にアドバイスを頂くこともでき有意義な時間となりました。

講師は、TAKE-PHOTO-LIFE代表の和田武氏。和田さんは、建築物の竣工写真や住宅会社のチラシ制作をはじめ、各種撮影や写真教室をなさっている登別市在住のプロカメラマンです。前日は、苫小牧の住宅の竣工写真を撮影なさったとのことで、建築物の撮影経験に長けており、実践的なアドバイスを多く頂きました。

まずは座学からスタート。撮影の際のポイントや、実際の竣工写真などを見せて頂きながら、お話を伺いました。

建築写真の撮影は、カメラなどの機材が出来を左右するというので、プロの方のようなアングルの写真を撮るには、それなりの機材(お値段もそれなり)が必要になるそうです。ただ、機材をそろえて一定のテクニックを覚えれば、プロ並みの写真が撮れますとのことでした。そこまで行くには、私にはハードルが高いなあ…

気を取り直して?各自持参したカメラを使う際のアドバイスを頂きました。参加者が持参していた

カメラは、コンパクトデジカメ、ミラーレス一眼レフ、スマホでした。これらの活用法を伝授頂きました。何より驚いたのは、自分の持っているカメラの機能を知らないことでした。「ISO感度を調整しましょう」と言われても、どのボタンを押せばよいのかわからずでしたが、和田さんが参加者それぞれのカメラを触りながら教えてくださいました。こんなところにボタンがあったのかと驚きながら、アドバイス通り調整してみると、写る画像が見違えました。我が家の年季の入ったデジカメもまだまだ捨てたものじゃないと思ってしまうました。

座学の後には、外に出て撮影実習です。昭和の雰囲気漂うノスタジックな街並みを楽しみながら撮影を行い、建物外観を撮影する際の構図のとり方やフレームの中のゆがみ方などを教えて頂きました。プロの方は撮影後、ゆがみ補正や電線などの不要部分を削除するなどの画像加工を行い仕上げるそうです。

和田さん曰く、「上達のポイントは、良い写真のマネをすること。まずはそこから始めてみようと思った秋の一日でした。



試行錯誤の構図決め

『DIYセミナー』

新海 直美 (札幌支部)

2018年11月10日(土) Wall Deco Shop KABEYA (札幌市東区)にて輸入クロス貼りや塗装のDIYのワークショップを行いました。

最近ではテレビやSNSなどの影響でDIYが流行っており、お客様との打ち合わせでも話が出ることで増えてきました。お客様は、私がプロの人だからよく知っているだろうという体でお話をされるのですが、現場は職人さん任せですし、DIYとなると材料や方法が少々違うので回答に戸惑うこともありました。そこで、自ら体験しておけば今後の仕事にも役に立つのでは?との思いから開催した次第です。

壁紙貼りは、輸入のクロスを使っただけのワークショップです。海外のものは色や柄が素敵なものも多く、見ただけでワクワクします。後で剥がすこともできる糊で、ローラーや刷毛、へらなどを使い貼っていきます。幅が50cmほどのものを柄合わせして貼っていくのですが、やってみると意外と簡単に手軽にできる印象。これで、お部屋の雰囲気が変えられるならDIYが流行るのも納得です。

塗装は、金色の下地を塗ったガラスに、茶系の塗料をのせてゆき、錆のようにみせたエイジング加工を施すのですが、錆がどのようにしているかをちゃんとわかっていないと表現もできず…。日々の観察眼が必要と感じました。



壁紙貼り体験中

小樽支部

HUG っと避難所運営ゲーム -Doはぐ体験

女性委員長

高橋 由希



その地震は、真冬の休日に発生しました。近所の小学校で避難所が開設され、「私」は町内会の役員か何かでその運営に係わることになりました。外は雪が降っていて、気温は氷点下。運営のお手伝いをするのはいいけれど、何をやるのかよくわからないうちに避難者が次々にやって来た-というのは現実の話ではなく、先日、小樽支部で行なわれた避難所運営研修会での「避難所運営ゲーム(HUG)」

の話。

ゲームは与えられた条件(気象条件、ライフライン、備蓄設備・食料)のなか、避難者をどのように収容し、避難所を運営管理していくかというものです。

物資、設備は限られている上に、避難者の中にはインフルエンザに罹っている人、ペット連れの人もいます。避難者からの要望、苦情と次々に出てくる試練。真面目に考えればいくらでも懸案事項は出てくるし、「所詮はゲーム」と割り切っているつもりでも読み上げられるリアルな避難者の事情やトラブルに『こりゃ大変だわ』と頭を悩ませ

ます。

新聞などでブラックアウトの時に「マニュアルはあったけど、どう動いてよいかわからなかった」と聞くと、やったことのないことは、咄嗟にできるものではないのだと、だから避難訓練も、避難所運営も「やったことある」ってのが大事で真面目にやるにこしたことはないけれど、「やったことがない」よりは遊びでもやったほうがいいのだと思いました。また、疑似体験することにより『運営管理する人たちは大変』と思うだけでもこの「Doはぐ」をやってみる価値はあったと思います。

石狩支部

道大会士別大会に参加して

支部長

佐藤 壽治



今回の全道大会には私と石狩支部の竹内氏の2名で参加しました。大会は9月5日が台風、9月6日が地震と大きな災害の見舞われた後でしたが、参加人数324人で無事開催されました。

全道大会開催の士別支部はサフォークのまち士別市、絵本の館剣淵町、玉入れのまち和寒町の一市二町の構成支部ですが、それぞれのまちの特色を取り入れた個性のある面白い良い大会でした。

竹内氏はこの剣淵町出身で、剣

淵町では、大地康夫主演の「じんじん」の映画撮影が行われていたり、和寒町では「全日本玉入れ大会」、150チームが参加で優勝賞金100万円という大会を開催していると言う事で、どちらも素晴らしい事業を展開しているまちであるという印象でした。

式典では、会長表彰が182人で、石狩支部では高村康文氏が表彰されました。逝去者には石狩支部の酒井敏一氏が含まれておりまして、大会参加者全員で1分間の黙祷で哀悼の意を表しました。

基調講演は士別市にトヨタのテストコースがある事からトヨタの田中義和様で、水素自動車「FCV



全道大会にて

ミライ」についての講演を聞く事ができました。

今回なによりも、剣淵町の絵本の館B分科会での昼食と懇親会のサフォーク肉が美味しかったです。

今年は全国大会が北海道開催で函館大会です、皆様で参加しましょう。

東西アスファルト事業協同組合 組合員紹介

 **株式会社 アクアグレース**
(札幌市豊平区)

代表取締役社長
早坂 智志



発展と共に事業を拡大し、現在では防水・塗装・外壁工事などを元請として受注するようになりました。

弊社の最大の強みは、卓越した「防水技術」にあります。「現場は人の手で造る」を理念とし、東西アスファルト事業協同組合などで実施される技能員・管理者養成所や技能学校などを通して、日々進歩を続ける防水の知識や技術の習得を図っております。永きに渡り、積み重ねてきた防水施工のノウハウを発揮し、何よりも施工品質に重点を置き、より良いサービスをご提供致します。その防水品質が皆様、しいては社会への貢献になると考えております。

弊社は、札幌市に事務所を構え、昭和53年に防水施工会社の協力会社としてスタートをしました。札幌市の

 **エスアイ工業 株式会社**
(稚内市荻見)

代表取締役
木村 隆雄



のお力添えのおかげと、深く感謝しております。

積み重ねてきた知識と経験と技術を発揮し、安心安全で品質の良い防水工事の提供に努めてきた年月といただいた信頼は、私の誇りです。

私たちはこれからも、東西アスファルト事業協同組合の一員としてさらに研鑽を積み、防水工事による社会貢献活動に邁進して参ります。また、皆様の日常業務の一助となれましたら幸いに存じます。

1級防水施工技能士：アスファルト防水：2名、改質アスファルトシート防水トーチ工法：3名、ウレタンゴム系塗膜防水：4名、FRP防水：1名、セメント系防水：1名

弊社は、昭和44年の創立以来、宗谷地区を中心に防水工事業を営んで参りました。これもひとえに、皆様

CPD認定プログラム(1月認定)

◆防水技術セミナー in札幌

《日程及び会場》 3月8日(金) 14:00~17:00
(札幌市)

《単位数》 3単位

《問合せ先》 東西アスファルト事業協同組合

講習会のご案内(2月開催)

建築基準法講習会

1日(金) 留萌市 6日(水) 北斗市 7日(木) 江差町
7日(木) 北見市 8日(金) 網走市 8日(金) 岩見沢市
13日(水) 釧路市 15日(金) 苫小牧市 15日(金) 富良野市
18日(月) 倶知安町 21日(木) 室蘭市 22日(金) 小樽市
26日(火) 根室市 27日(水) 稚内市

監理技術者講習

21日(木) 札幌市 25日(月) 旭川市

応急危険度判定士認定講習会

1日(金) 稚内市 4日(月) 苫小牧市 6日(水) 札幌市

建築士試験「設計製図」合格者(北海道)

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	220名	93名	42.3%
二級建築士	309名	151名	48.9%
木造建築士	2名	1名	50.0%

平成31年

(一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしていませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.265」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.259」に掲載します。

編集後記

東西アスファルト事業協同組合様の助成が4回目となりました。正に「いつもお世話になっております。」ですね。改めて考えると200万円×4年、延べ800万円の助成をいただき、本当にすごいことだと思います。各委員会の報告にもあったとおり、建築士の活動に幅がで、いっそう充実してきました。助成がいつまでも続くわけではありませんが、これらを如何に発展させていくかが我々の責務ではないでしょうか。まずは全国大会「函館大会」へ繋げ、成功を目指しましょう。

情報委員会委員長 斎藤 勝哉(旭川支部)

道士会の動き

道本部の主な行事予定(2月)

16日(土) 第1回まちづくり委員会
16日(土) 第9回全国大会実行委員会
23日(土) 第1回女性委員会
23日(土) 一級建築士免許交付式

道本部の主な会議報告(1月)

- ◆第1回地域貢献活動センター委員会
《開催日》 1月7日(月)
《議題》 1) 1月申請事業の活動助成 他
- ◆全国大会実行委員会在札等委員会議
《開催日》 1月7日(月)
《議題》 1) 北海道大会実施計画等 他
- ◆第1回青年委員会
《開催日》 1月12日(土)
《議題》 1) 平成30年事業報告・決算報告、平成31年事業計画・予算 他
- ◆第4回住教育特別委員会
《開催日》 1月17日(木)
《議題》 1) HUGとインテリア関係の授業プログラムの概要作成 他
- ◆まちづくり委員会小委員会
《開催日》 1月19日(土)
《議題》 1) 平成30年事業報告・決算報告、平成31年事業計画・予算 他
- ◆第8回全国大会実行委員会
《開催日》 1月19日(土)
《議題》 1) 北海道大会実施計画等 他
- ◆第2回ありかた検討会議
《開催日》 1月21日(月)
《議題》 1) 北海道建築士会の今後あるべき姿を考える

関係機関等会議参加予定(2月)

- 7日(木) 建設系CPD協議会運営委員会(東京)
- 18日(月) CPD・専攻建築士制度委員会(東京)
ともに高野会長出席
- 7日(木) BIS認定運営委員会(札幌)
石川専務出席
- 21日(木) 北海道公共建築設計懇談会(札幌)
高野会長・西岡常務理事出席

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.258号

印刷 平成31年1月/発行 平成31年2月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番